

“政治を変えてほしい”の気持ちを利用して独裁ねらう

橋下・維新の暴走にストップ 日本共産党

「大阪都」でくらしはよくなるの？
府民苦しめる原因は国の悪政です

大阪の景気が悪いのも、府民のくらしが苦しいのも、大阪府と大阪市の「二重行政」が原因だと、橋下氏や維新の会は言っています。これはどこでもなごうまがごです。

景気が悪いのも、くらしが苦しいのも、大阪だけの現象ではありません。原因は、非正規雇用を増やし、相次ぐ社会保障の改悪で貧困と格差を広げてきた国の悪政です。その一方で大企業は260兆円もの内部留保を貯め込んでいます。

日本共産党は、財界・アメリカいいなりの政治を転換し、くらしを守る、大阪経済を再建します。

“反独裁”の平松氏が4割の得票…大阪市長選挙 教育、職員基本条例を廃案に

橋下氏と維新の会のねらいは、「政治を変えたい」「でもなかなか変わらない」という、国民のイライラを逆手にとって、一挙に独裁政治に変えようという、危険な企てです。

先の大阪市長選挙で日本共産党は「反独裁」の一点で現職の平松氏を支援しました。平松氏は、41%、52万人の支持を得て、「反独裁」のたたいは党派をこえて大きく前進しました。

日本共産党は、この力をさらに前進させ、国民に直接奉仕すべき役所と教育を、橋下・維新の支配下に置く、教育・職員基本条例など、独裁政治を許さないたたかいに全力をあげます。

教育・職員基本条例ってどこが問題？

＜＜ 教育基本条例 ＞＞

橋下氏の思想・極端な競争を教育現場に押しつけ

知事や市長が教育の目標を決め、これに反対する教育委員は解任。定数割れの府立高校の統廃合などが内容です。

＜＜ 職員基本条例 ＞＞

知事・市長に絶対服従を迫る

「国保滞納者から学資保険まで差し押さえ」…こんな不当な職務命令でも背けば職員を首にできるようにするのが内容です。不正を見つけても内部告発もできません。

